

連盟ニュース

299

神奈川 12

2009.12.8

『ダケカンパと朝日』(北アルプス・鏡平にて) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

遭対部会便り12月	遭対部長 田村和寿	2
「ファーストエイド講習会」のご案内	遭難対策部	3
雪山での雪崩・滑落・転落事故を防ぐ心構えと準備を	中山建生	4
11月15日 飯盛山 公開ハイキングを終えて	川崎ハイキングクラブ	5
湯河原梅林公園環境保全活動1 / 2 4		6
第17回 関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内		6
2010年 関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会 開催のお知らせ		8
11/7-8セルフレスキュー講習会感想文	カモの会 佐藤充朗	12
09 全国自然保護担当者会議参加の報告	自然保護委員長 高橋勇三	12
11月事務局長会議の報告 報告者 海輪利昭	13 / 11月自然保護委員会報告 記録 大用ユキ子	13
12月常任理事会報告	報告者 中山建生	13
本の紹介 『雪山の基本』バックカントリーの新定番	中山建生著	14
神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ		14
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		15
登山時報紹介 17 / 県連のスケジュール / 全国会議行事予定		18



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

遭対部便り 2009年12月

遭対部長 田村

いよいよ師走となりました。例年ですと冬山に関する注意を掲載していたのですが、似たような警告(ドカ雪に注意)に飽きてしまったことと思います。そこで今回は山行全般に関する、具体的な注意点を話したいと思いません。

先日、全国遭難対策部長の井芹さんの講演が埼玉で行われたのですが、事故が発生する要因としてスイスチーズモデルをあげていました。スイスチーズモデルとは、ある事故要素(原因)が事故発生に至るには、いくつかのチーズの穴がつながる必要があるというものです。井芹さんはこのチーズを4つとして、それぞれを「経験」、「技術・体力」、「戦略」、「自然環境」としていました。事故はこれらすべての穴が繋がってしまった場合に発生するわけですが、逆を言えばどれか一つでも穴をふさげば事故は防止できるわけです。「経験」、「技術・体力」は目標を持ってトレーニングしていれば身に付くものですが、一朝一夕という訳にはゆきません。「自然環境」も現地で遭遇する(下調べや予想は出来ず)もので、実際の現場で回避することは難しいものです。そうすると「戦略」が山行の成否の鍵を握ることになります。「戦略」とは、どういうことでしょうか? それは自分が行く山、行きたい山のことをよく調べ、そこに行って、無事帰るのに必要な準備を充分に行うことです。そのためにはどうすればいいのでしょうか?

1. コースを熟知しよう

まずはコースタイムを調べます。時間が長ければ、一般的にきつくなります。

登降断面図を作成し、傾斜の緩急や、長い登り、下りをチェックします。

コース上に危険箇所が無いかをチェックします。

2. 気候を予測しよう

もし行く山、または近くの山に気象観測点があるなら、その情報から例年のその時期の気象データ(気温、雨量など)を入手します。山の観測点が無い場合は、近くの

平地での観測点の情報から推測します。気温なら、標高差1000mで約7度下がると考えてください。山では風も強いので、体感温度はもっと下がると考えます(風速1m/sで1度下がる)。雨、雪、雷などについても調べます。

3. 行動可能時間を予測しよう

一般的には明るい時間だけが山の中での行動可能時間となります。まずはその時期の日の出、日没時間を調べましょう。つまり、日の出～日没までの時間なら明るいと考えがちですが、そうはいきません。他の山に遮られる、森林の中、曇天などの要因で、想像以上に暗いこともあります。それぞれ30分～1時間の余裕をみて考えましょう。

以上をふまえて山行計画を立案、もしくは確認しましょう。

これらについての戦略(作戦)は皆さん自身に考えていただきたいのですが、難しいことではありません。「着替えを持って行こう」だとか、「行動食を工夫して休憩時間を減らそう」のような、ありふれたことで対応できるのかもしれないのです。そして、これらの工夫をしても山行計画通りに行かないならば、なんらかの問題があると考えて早めに山行を中止するのです。

あまり重くみられない山行前の話ですが、ちょっとしたことで事故は防げます。山に行ったときだけでなく計画を考えるときも、わいわいがやがやと皆で話し合ってみませんか?

補足：装備にて対策することもあると思いますが、ただ持つだけでは駄目です。あらかじめ使い方を練習し、緊急時にも冷静に使いこなせるようにして行ってください。

「ファーストエイド講習会」のご案内

2009.12 神奈川県連・遭難対策部

山でアクシデントが起きた時はどうすればいいでしょうか？その場の持ち物を使い、自分たちで即座にできるファーストエイド（応急処置）の技術を学びましょう！

主催：神奈川県連・遭難対策部

講師：高津久美

MFA(メディック・ファースト・エイド)
インストラクター

日程：2010年1月31日(日)

集合場所：

県民活動センター 会議室405

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

電話045-312-1121 横浜駅 西口・きた西口

出て、徒歩およそ5分

服装：汚れてもよい動きやすい服装

タイムスケジュール：

受付9:15～講習9:30～

休憩12:00～12:45 終了～16:45

昼食：休憩時間に各自（研修室内での飲食も可能ですが、ゴミは持ち帰り下さい）

費用：労山会員：2,000円・一般：3,000円

対象：登山・ハイキング・クライミングなど愛好者

主な講習内容：

必携装備の紹介、

出血のコントロール、体位の変換

包帯の使い方

捻挫・打撲・骨折の処置、疾病、

総合的なシミュレーション

持ち物：

三角巾、筆記用具

持っている方のみ（新規購入不要）：

救急パック、スーパーのビニール袋

ストッキング、ストック、折畳傘

申込先：

留守電・FAX 050-3488-3765

e-mail kanagawa.soutai@gmail.com

申込締切：1月27日(水)



過去のファーストエイド講習の様子



過去のファーストエイド講習の様子

雪山での雪崩・滑落・転落事故を防ぐ心構えと準備を

2009.12.1副会長 中山 建生

12月の初め、今は仕事の忙しさに追われ、山どころではないというのが実感かもしれませんが。私の方は11月から雪崩の講習に、打ち合せにと出掛けることが多くなりました。神奈川でも17日に雪崩についての机上学習がもたれます。野外実習は関東地方講習会(2010年1月)に、全国講習会(2010年2月)に、また北海道、東北、北陸、東海、近畿、中国地方でも事故防止のための机上と野外での講習が開かれます。

冬山での事故は雪崩に限りません。滑落も転落も深刻な事故です。会は予めその対策を立てて、会員の冬山登山に臨まなくてはなりません。一時は雪上訓練に富士山の5合目から上に向つて多くの山岳会が山に入りました。その富士山の様子も以前と比べ変化をしてきたのです。訓練するパーティが少なくなったと感じます。また数年前から訓練地の場所が雪崩の走路となり安全に疑問がでてきました。谷川でも本格的な訓練風景を見なくなりました。それでも冬山に入る人達は意気盛んにがんばっています。中高年登山ブームは去り、夏山、秋山では若い女性が目立つと聞くようになりました。なにごとにも男性より女性にエネルギーを感じます。神奈川のハイキングリーダー養成学校でも男性はわずかでここでも女性の元気な姿を見えています。

山に向かう意欲は大切です。会はこれを励まし、可能なかぎり安全教育に、そして仲間づくりに力を入れてほしいものと願っています。身を守るための教育は組織=会が積極的に行なわなければまず実現しないからです。一見地味に見えても継続する力はやがて花を咲かせます。雪崩事故防止の取り組みも、雪上訓練も、冬山に入ろうとするならば必ず取り組んでほしいと思います。会員から、会から要望があれば応えたいと思います。年末年始の準備は早めに取り組み、安全な登山を実現、支援することが会や連盟の役割であると考えます。



11月15日 飯盛山 公開ハイキングを終えて

川崎ハイキングクラブ

コース：平沢集落～野辺山高原～飯盛山～平沢山～獅子岩

参加者：会員外19名、会員25名 合計44名



毎年恒例の公開ハイキングを清里駅近くの飯盛山で行いました。貸切バスは、6時55分に武蔵小杉駅付近を出発し、首都高速～中央高速を順調に進みました。快晴・紅葉ピーク・高速料金割引が重なり、渋滞が予測されていましたが、10時過ぎには登山口の駐車場に到着してホッとしました。4班に分かれて出発、樹林帯を抜けると見晴らしの良い野辺山高原に出ました。休憩後、飯盛山に向かって、出発。途中、富士山やハヶ岳の山々が望まれ、足元も広く、気持ち良く歩くことが出来ました。山頂は360度の展望が得られ、遠くの間々まで、はっきりと見てとれました。ただし、強風のため、先に到着した3班以外は、下ったところで昼食を取りました。食後は、平沢山に立ち寄り、バスの待つ獅子岩近くの駐車場へ下っていきました。行きと帰りのバスの中では、自然保護委員会よりビニール袋の配布と登山道歩行時の注意、組織部など専門部と各グループより会の紹介、遭難対策のビデオ上映など盛り沢山のプログラムが進行しました。帰りは、渋滞に巻き込まれてしまいましたが、20時過ぎには武蔵小杉に到着し、解散しました。事故・怪我・トラブルも無く、会員外の参加者から「次回も参加したい」「景色が良く、満足しました」など、感想が寄せられました。

さて今回の参加者から何名入会いただけるでしょうか。実は、公開ハイキングのため、念入りな準備をしました。集客のため、4,500円という低価格に設定し、二瓶実行委員長のツテで安いバス会社を探しました。また、無料掲載の新聞社への交渉、HPの改定など広報にも力を入れました。2週間前に下見を行い、バスの走行ルート、駐車場、トイレや雨の場合のサブコースを確認しました。参加者の説明会を行い、班に分かれての装備チェックなども行いました。例年のことなので、前年の反省を踏まえて年々向上しているのではないのでしょうか。ただし、実行委員の立候補者がおらず、一部のメンバーに負担が偏ってしまうのが悩みの種です。



報告・川崎ハイキングクラブ 菊地 和美

実施要綱「湯河原梅林公園環境保全活動」

名称：「湯河原梅林公園環境保全活動」

目的：クライマーの自主的活動により、湯河原梅林公園内の清掃活動及び、てんとう虫ロックエリアの浮石点検活動を行い、湯河原梅林公園を訪れる入園者の安全の確保と環境の保全を図ることを目的とする。

日時：平成22年1月24日（日）午前9時から正午まで
（雨天の場合は、翌週へ延期）

場所：湯河原梅林公園内（神奈川県足柄下郡湯河原町）

主催：小田原クライマーズクラブ（代表：西村誠）

後援：神奈川県山岳連盟、神奈川県勤労者山岳連盟、日本フリークライミング協会
協力（予定）：山岳塾、相川スクールOB会、労山ナーゲルの会、湯河原観光ボランティア協会、ジャパン・アルパイン・ガイド組合、モンキーマジック（順不同）など
協賛（予定）：株式会社アルテリア、株式会社ICI石井スポーツ、株式会社カモシカスポーツ、株式会社ゴールドウィン（ザ・ノース・フェイス事業部）、モンベル、岳人、patagonia日本支社（順不同）

参加費：無料

持ち物：登攀具、ロープ、軍手、持っている人は手鎌、鋸、使えなくなったピッケル、点検用のスパナなど

活動内容：湯河原梅林公園の清掃活動を実施する。園内のごみ拾い、散策路に落ちている転石を処理する。ごみは分別して集積する。

てんとう虫ロックエリアの浮石点検活動を実施する。終了点と中間支点の安全を確認した後に、浮石の点検を行う。併せて浮石の原因となっている灌木や雑草の除去を行う。活動は落石の監視、入園者の誘導を行い、安全に留意する。

第17回 関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内

主催 日本勤労者山岳連盟 関東ブロック協議会

登山や山スキー、スノーボード等 バックカントリーでの遊びはスリリングで楽しい。一方、毎年、雪崩による事故・遭難・死亡などがニュースでも伝えられています。講習会では、雪崩を知ることによって事故のリスクを減らす、実践的学習を進めています。下記実施要領を確認の上、実技学習・机上講習を申し込んでください。

机上講習だけの参加も可、誰でも参加できますので、仲間を誘い合わせて参加願います。会場はどこでも参加できますので、申し込んでください。（机上講習日程・各会場・県連担当者等は下欄を参照してください。）

入笠山での実技講習参加者は、机上講習の受講が必修条件ですので必ず受講してください。

実施要領

•日時 2010年1月23日（土）12時～1月24日（日）14時

- 場所 入笠山及び「マナスル山荘」周辺・宿泊 マナスル山荘 Tel 0266-62-2083
富士見パノラマスキ - 場山頂駅徒歩 15分
- 集合 1月23日 AM11:00 「富士見パノラマスキー場 ロープウェイ乗り場前」
前泊の方はマナスル山荘
- 定員 基本[1]クラス(初めての参加)20名(登山・山スキー・ボード)
基本[2]クラス(2回目～経験者)10名(登山・山スキー・ボード)
- 受講費 実技講習 25,000円 学割22,000円
(宿泊料・講習料・資料代・ロープウェイ料金等を含む)
- 装備 冬山装備一式、雪崩講習に必要な用具(机上講習のとき一覧表配布)
- 締め切り 2009年12月31日

問合せ先

- 東京都勤労者山岳連盟(全国連盟事務所)担当 川嶋
TEL 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324 mail: jwaf@jwaf.jp

- 受講申込みと同時に、受講費を払い込んでください。
- 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- 尚、キャンセルは1週間前とし、その後は実費を頂きます。

受講費振込先

- 決定次第、本HP誌面にてお知らせします。

実技参加者は受講申込に際し、以下の事柄についてお知らせください。メール/FAXにて

- 1.氏名・生年月日・性別
- 2.住所および電話番号(メール通信が可能な方は、メールアドレスも)
- 3.所属山岳会があれば会名、なければ所属なし。
- 4.遭難対策基金(特別基金)加入口数または、その他の山岳保険加入内容(保険は必ず加入のこと)
- 5.積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無
- 6.緊急時の連絡先
- 7.希望講習クラス(例:基本クラス[1]、基本クラス[2]など)
基本クラス[2]は原則として基本クラス[1]修了者が対象となります。

== 各地方連盟の机上講習会開催のご案内 ==

この机上講習は、雪崩発生メカニズムや危険判断の方法、危険を考慮した行動選択、それらに必要な雪質についての知識そして初動捜索の方法などを知っていただける内容です。雪崩について初めて学ぶ方を対象にしますが、リピーターも歓迎です、何回でも受講してください。1月の実技講習会(入笠山)参加の方は必修です(平日2回もしくは半日コースを選択してください)。実技講習に参加しない方も、この機会に雪崩の入門講座として、お気軽にご参加ください。

また、各机上講習会は、定員になり次第受付を終了します。予めご了承下さい。

机上講習開催日

- 講習料 各地区共 2,000円(テキスト・講習代)

12/17(木) 19:30～ かながわ労働プラザ第一会議室

講師: 中山建生(日本雪氷学会会員/日本勤労者山岳連盟認定講師/神奈川県勤労者山岳連盟副会長)

2010年 関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会 開催のお知らせ

主催 関東ブロック協議会
主管 埼玉県勤労者山岳連盟 救助隊

- 【開催日】：2010年2月20日(土)・21日(日)
- 【開催場所】：群馬県 谷川岳 土合周辺
- 【集合場所】：土合山の家 20日(土)午前9:30 (21日のみの参加の場合は同日午前7:30)
- 【宿泊】：土合山の家
- 【参加費】：7,500円(土合山の家・一泊二食付,交流会費を含む)21日のみの参加は500円.
- 【参加対象】：関東ブロック協議会所属の各都県連盟救助隊々員・並びに救助隊活動に携わる方 [東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木・山梨]

- 【申込締切日】：2009年12月15日(火)
申込みは各県連盟救助隊事務局でとりまとめのうえ、別紙の参加申込書に記入し、埼玉県連盟救助隊・三宅までお送り下さい。送付先は下記をご参照下さい。
参加者数により要員の要請手配がありますので、申込期日は厳守をお願いします。

- 【装備】：冬山装備一式・登攀具一式 (ビーコン,プローブ,スコップはできるだけ持参下さい)
共同装備は各都県連盟救助隊装備をご用意下さい。
(主管事務局から要請するものもありますのでご協力下さい)

- 【訓練内容】：深雪におけるの搜索・救助搬出技術訓練
20日(土)

1. 講習グループ
初級コースとして、ビーコン・梱包技術の講習会
2. 訓練グループ
基本技術講習(登攀技術・ロープワーク)
3. 山スキーグループ 20日のみ 21日は講習か訓練グループに参加願います。
 - 1) 基本技術講習
 - 2) スキー板を利用した搬出
4. ヘリコプター搬出時における講習
ヘリ救出時におけるヘリの特性等について

21日(日)

遭難者の搜索・搬出訓練

GPSとPCを使用した搜索(訓練グループ)、シート梱包、スケッドストレッチャーによる搬出、引上げ工作・引き下ろし工作 その他

21日の搬出訓練については、参加者のレベルによってグループ分け・班分けを行います。
訓練グループ...実際の遭難事故を想定し、搜索、梱包、搬出の一連を実践的な場所で訓練します。

各要素技術、手順について習熟しているメンバーを対象とします。

講習グループ...GPS解読による現在地確定、シート梱包、引上げ工作などの技術講習を中心におこない、安全地域にて搬出のシステムを学びます。深雪搬出訓練初参加者等を対象とします。

訓練グループについてはあくまでも訓練ですから、あらかじめ各連盟で技術習熟度をよく確認し、参加グループの選択・割当てをしていただくようお願い致します。

【 交 流 会 】 2 0 日(土)宿舎にて

各県連の活動報告

技術交流

懇親会

主管連絡先：埼玉県勤労者山岳連盟 救助隊

三宅 E-mail kyjws893@ybb.ne.jp

三宅 電話 090 - 9644 - 8988

宿泊予約取り消しについて

宿泊2日前以降については、原則として取消料を負担いただく場合がありますので
ご了解くださるようお願いいたします。

2010年 関東ブロック救助隊交流集会/深雪搬出訓練 実施要綱

埼玉県勤労者山岳連盟 救助隊

実施スケジュール

2月20日(土)

9:30 指導要員集合

9:30 参加者受付開始・参加費徴収(宿舎玄関)[この間、指導要員は手順等の打合せを行います]

10:15 開催の挨拶・オリエンテーション(スケジュール説明、注意事項、連絡事項)

10:30 ヘリ救出に関する学習会 11:25まで

11:30 昼食(各自で用意して下さい)・着替え準備

12:30 集合・講習グループ、訓練グループに分かれて移動

13:00 講習グループはGPS解読による現在地確定等について、室外の学習及び室内での机上講習。
訓練グループは、室内にてデモンストレーション及び翌日訓練手順の総括。[G内での役割分担、必要装備の見積り、装備分け]

山スキーグループは搬出までの講習を継続し17時までに山の家へ帰る

17:00 入浴

18:00 夕食

19:00 各県連救助隊の活動報告会・懇親会

21:00 終了・後片付け

22:00 就寝

2月21日(日)

6:30 朝食(宿泊者のみ食堂にて)・着替え等準備(荷物は各部屋から会議室に移動して下さい)

7:30 山の家玄関前集合

主催者挨拶・注意事項伝達・各班長の挨拶

8:00 グループ(班)ごとに訓練場所へ移動

訓練グループ・・・西黒尾根

講習グループ・・・土合周辺、赤沢山斜面

14:00 訓練終了・山の家へ移動(訓練終了はグループによって遅くなる場合があります)

14:30 装備返却(玄関前)・着替え(会議室にて)

15:00 反省会

15:30 解散

【注意事項】

両日とも昼食は参加者各自で準備して下さい。

装備には氏名を記入・貼付し、紛失しないよう各人でご注意下さい。

ビーコン、プローブ、スコップ、登攀具などの装備はできるだけ持参をお願いします。

天候等により当日のスケジュール、訓練場所等が変更になる場合があります。

21日(日)の訓練終了はグループにより遅くなる事が考えられます。車など乗り合わせて帰宅される場合は、あらかじめご了承下さい。

2010年 関東ブロック救助隊深雪搬出訓練 訓練予定内容

訓練内容は下記の内容を予定しています。内容をよくご確認いただき、参加希望の訓練グループを選択してください。

グループ	想定する対象者のスキル	訓練内容
訓練グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・雪山経験が豊富である ・急雪壁が登れる ・支点工作ができる ・ロープワークに習熟している ・負傷者梱包ができる ・引上げ工作ができる ・引き下ろし工作ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・捜索班（複数）と搬出班で構成する ・捜索班は仮定区域で分散して捜索 その際、GPSでの座標を本部に連絡 ・搬出班は捜索区域の下部まで装備を搬送して待機 ・遭難者発見後は発見した捜索班は本部への連絡、遭難者の救護をおこなう ・他の捜索班、搬出班は本部指示により行動 ・捜索班、搬出班合流後は搬出班リーダーの指示により行動 ・遭難者を梱包し、人工支点を設置して引き上げ引き下ろしをおこない、安全地帯へ搬出する ・技術指導者は積極的な助言は行わない。 ・パーティ内でリーダー並びにオーダーを決定する。 ・1捜索班のメンバーは2-3名程度を想定。
講習グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・これから雪山をやりたい。 ・やさしい雪山の経験がある。 ・セルフレスキューとしての雪質の確認と埋没者の捜索法を学びたい。 ・深雪搬出に参加してみたい。 ・基本的なロープ結束を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS解読・現在地確定 ・雪質の確認 ・ビーコン&プローブ捜索訓練 ・シート梱包の訓練 ・支点工作と引き上げ・引き下ろしの実践 ・スケッドストレッチャーによる搬送
山スキーグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・これから山スキーをやりたい。 ・やさしい山スキーの経験がある。 ・深雪搬出に参加してみたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・シート梱包の訓練 ・スキー板を利用した搬出

セルフレスキュー講習会感想文

個人的には、登る訓練がメインで、レスキューについては少しだけかじったことがある程度でした。さらに、沢などを経験する中で、フリクションノットやビレイデバイスの使い方に疑問も生まれていたので、このような機会を待っていました。そのような中、会でセルフレスキュー講習会参加への呼びかけがあり、両日参加させていただくことにしました。

講習当日は、集合場所に行ってみると、大先輩にちょっと緊張。久しぶりな方々とお話をして、少し緊張をほぐしました。

講習1日目の最初は、オートロックしたデバイスからのロープ繰り出しでした。実際にオートロック解除時に急にロープが出て行くところを講習中に見たので、バックアップを取りながら自らの体重でゆっくりとオートロックを解除する事の重要性を理解できました。ビレイヤーの事故脱出は、システムについては一通り理解できました、しかしながら、個人的にはさらなる練習が必要です。ロープの登りはコツが必要で、実際に経験できてよかったです。負傷者の引き上げでは、2箇所のフリクションノットをどうするかを実践し、あと常にプーリーを1個持ち歩きたいと思ってしまいました。後藤さんからいた

だいた、エイトノット等に関する基本的ところへの注意喚起も、気が引き締められました。

2日目で最初に印象に残ったのは、ビレイデバイスを利用しての登り返しです。とてもリーズナブルな方法だと感じました。町田さんが、すいすい登っていくのには驚きました。負傷者の引き降ろし、負傷者を介助しながらの懸垂下降については、基本的なシステムと、介助者と負傷者との位置関係によって下降のしやすさが違うことを学ぶことができました。各ビレイデバイス、ロープ、スリングの組み合わせで実践してみると、正解というものが無く、自分にあったやり方、その状況に合ったやり方が重要であると感じました。レスキュー時には実力以上のことをすると、負傷者、救助者ともに遭難する危険があるのを肌で感じました。今回学んだことを今後身につけることが重要だと思います。自分の所属している会の中でも、ここまで時間をかけて学ぶ機会も少ないのでとても良い経験をさせていただきました。

次の講習の機会にも、また参加させていただきたいです。講師の方々、どうもありがとうございました。

カモの会 佐藤充朗

09 全国自然保護担当者会議参加の報告

自然保護委員長 高橋勇三

主催 長野県連

開催日 2009.11.14(土)・15(日)

場所 長野県信濃大町市 黒部観光ホテル

参加者 23都道府県より52名 神奈川県連から高橋勇三(藤沢山の会)大用ユキ子(川崎HC)

テーマ 『地球温暖化と低炭素登山・山岳自然を大事にする登山について考える』

第一日目 14(土) 13:00~17:00

講演会 「ライチョウの生態系と地球温暖化」
肴倉孝明氏

「北アルプス立山の積雪観測から何が
見えるか」飯田 肇氏

各地方連盟からの報告

北海道(道央連盟の自然保護憲章)、

福岡(山のトイレ調査報告)

長野(根子岳風力発電計画中止)

千葉(鬼泪山山砂採取問題)

兵庫(植林活動について)

愛知(笹枯れ問題)

交流会 (19時より懇親、歌声等)

第二日目 15(日) 9:00~12:00

全参加者が分散して各分科会に出席し、意見交換を行いました。

第1分科会 地球温暖化により、野生鳥獣の生

態系が変化し山岳自然に影響を及ぼしている現象について考える

第2分科会 山岳自然を傷つけない登山の方法と登山道整備問題について考える

第3分科会 人間の経済活動や社会生活が山岳自然破壊に及ぼす問題について考える

第4分科会 地球温暖化と低炭素登山の方法について考える

分科会終了後、各分科会のまとめの報告を行いました。

12時会議終了後、オプション研修会に参加いたしました。

高瀬発電所見学 = 東電のマイクロバスで高瀬ダムに行き、高瀬ダムと地下の発電施設を見学

以上の内容の会議でした、講演では自然生態系の変化でライチョウの減少の問題、及び立山の積雪量の減少、積雪の方向が変化している状況、両氏が貴重な資料をプロジェクト放映しながら説明をされました。いずれも温暖化の影響であることを話されました。

分科会では、積極的な意見交換がなされ、自然保護の認識を高めました。

今地球は加速している温暖化を抑えるため対策が始まりましたが、登山者としても本会議のテーマの地球温暖化と低炭素登山、山岳自然を大事にする登山について考えて行きたいと思います。

11月事務局長会議の報告

11月10日19時～21時 県連事務所にて開催

- 内容 1. 県連盟・全国連盟からの報告
2. 各会の山行報告及び活動報告

出席会

川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、藤沢山の会、小田原ナーゲル山の会、相模AC、みずなら山の会、雪童山の会、山++、山ブキの会

常任理事会からの報告

- ・各会の会員数報告
- ・2月の全国総会（栄誉功労賞、永年会員賞）
- ・全国労山のHPに各会の紹介を掲載
- ・規定・規約の整理について
- ・専門部の報告

各会からの報告

この間、出席会からの事故報告はありません。

秋山から冬山への移行期でもあり、秋山を楽しむ企画として芋煮会、地域でのふれあい祭りへの参加や、山++からは格安料金のサンライズ瀬戸を利用した四国山行が報告され、川崎HCでは一般参加者20名でのバスハイクの実施が報告されました。

また、山ブキの会からは女性委員会主催の山行（インド）への参加報告があり、活動範囲の広がりを実感しました。

アルパイン系の会からは、谷川岳での雪上訓練、三つ峠でのアイゼントレーニングの計画が報告されています。

グレンデの整備・清掃活動として小田原ナーゲルから「幕岩・梅の宴」が1月24日（雨天の場合1月31日）から紹介されています。

（私も5年以上前までは時々事務局長会議に出席していましたが、当時と同じ方が出席しているのを知り「ご苦労様」と思うとともに、各会でも委員の新陳代謝に苦労しているのだな—と思いました。）

報告者 海輪 利昭

自然保護委員会報告 2009.11.30(月)

出席者；藤沢山の会(高橋・萩原) 横浜HC(宮原・関根・伊藤) 地平線の会(磯部) 川崎HC(大用)

報告事項：*09関東ブロック自然保護交流集会参加報告（詳細は県連ニュース11月号）

*09全国自然保護担当者会議参加報告（詳細は県連ニュース12月号参照）

*丹沢大山自然再生委員会（2009.11.26）

サントリーホールディングス（株）「天然の森丹沢」「天然水の森」づくりを、丹沢札掛の県有林約500ha（想定）を、活動フィールドとしてサントリーと神奈川県が協働して丹沢大山自然再生委員会自然再生プロジェクト推進制度の

もとで実行

2010全国植樹祭

期日5月23日 会場は秦野戸川公園地区で式典を足柄森林公園丸太の森地区で、天皇皇后両陛下のお手植えを行います。

討議事項：*次期役員体制と今後の活動について
「2010クリーンハイク」実行委員会は2010年1月より開始。各会から実行委員の選出及び出席をよろしく願います。

連絡事項：*12月の自然保護委員会は12月21日（月）事務所で委員会を早めに終了し、別会場で望年会を行います。前クリーンハイク実行委員の参加も、お待ちしております。

記録 大用

12月常任理事会の報告

2009.12.1 報告者 中山建生(進行)

出席者 増田徹(ハイキング委員会)、三上茂(事務局、機関誌)、蝦名正次(事務局、財政)、高橋勇三(自然保護委員会)、大用ユキ子(自然保護委員会)、中山建生(副会長)、田村和寿(遭難対策部)、小野寺英夫(事務局)

欠席者 後藤真一(理事長)、渡辺三男(会長)、海輪利昭(救助隊)、

磯部津輝子(副理事長)家族の病院付き添いのため
敬称は略す

定刻7時30分に議題を整理、発言した。以下にまとめた。

事務局部会小野寺英夫は連盟総会の準備、議案書の提出(1月骨子、2月提案)として2月の事務局長会議に説明する旨を通知、各担当理事に協力を求めた。大会役員、理事の選出について予め用意をして臨むよう、また報告の手順と担当者を予定した。三上茂より1月中に用意のことを重ねて確認する。印刷、配布の日程から準備を怠らないことを進言する。三上より12月の機関誌の内容の提案と発行部数を500とすることを了承した。

連盟の会議に欠席、報告のない会については事務局から資料の郵送、連絡を尽くしたのち対応を考えるべく今後の働き掛けをする事とした。

欠席常任理事には資料を送付する。

会議資料は、総会準備と活動予定、各会の会員数、自然保護活動報告、ハイキング委員会活動予算不足の請求、連盟ニュース12月号内容、冬山登山の安全実施、全国理事の推薦、ほか。

12月の事務局長代行は田村和寿とした。

自然保護委員会高橋勇三からは長野の自然保護集会の報告、大用ユキ子からは丹沢再生と前記集会の分科会報告を得る。森林の保全ときれいな水づくりなど行政や市民団体との協力により神奈川の運動を推し進める役割をになうことになるだろう。

ハイキング委員会からは予算に赤字が生じたため追加請求をなした。実費などの請求に於いての支払いは認めにくい、必要なものが不足した場合には個別に判断をしたい。足りないから請求するというのでは納得が得られない。財源が許す限りは理由があるものについては支払いをしたい。不足分の支払いは今回限りとして認めた。

全国理事の推薦に関しては用意がなかったため、

現在委員として活動している者より理事候補として人選できないかを後藤理事長に伝えることとした。県連盟の理事の人選が進まない中では具体的な推薦とならず検討することができない。

次回1月5日(火)は総会の準備となり忙しくなることから各理事に於いてはそれぞれに準備と委員会の開催など早めに行うよう連携を強化するように望みたい。

本の紹介 樫出版社 11月27日発売 定価1680円(税込み)

雪山の基本 バックカントリーの新定番 中山建生・著

2009.11.28 中山 建生 著 045-931-2291
226-0013横浜市緑区寺山町564

「雪山に入る101のコツ」=本書の発行から既に11年の月日が経ちました。バックカントリーの普及とともにボーダーが雪崩に遭う事故が増えたのです。この人達に雪崩の危険を、滑走の安全を、万一の時に救助ができるようにと本書を書きました。当時は登山者の、ときおりスキーヤーの事故、そして雪の中で働く人達にも雪崩事故はありました。私が雪崩教育を始めた直接のきっかけは山岳会活動を一緒にしていた親しい友達が穂高と鹿島で亡くなったことでした。人の生き死に関わることは悲しく辛いことでしたから、今後同じ思いをさせたくないという気持ちだけでこの世界に飛び込んだのです。ほぼ10年間は寝る間もない位、夢中で勉強し、雪の中での実習に励みました。この中で多くの人達に励まされたのです。今では同じ志をもつ仲間たちが各地で講習会や研修会に取り組み事故防止にとがんばっています。私は毎回実習用の教材や最新の情報をもとにした講義をしてきました。とりわけ雪崩ビーコンの改良による最新の情報と雪崩判断に関わる雪を見、危険を判定する方法を分かりやすいものにしてきました。そんな時に「雪山に入る101のコツ」本書の改訂となりました。実際には全てのページを見直し、図を改め、写真を変更しました。多くの人達が求めるもの、それは分かりやすく雪崩に興味があく内容でした。専門用語は最小限にし、平易な言葉に、そして長い文章を短くしました。皆さんの力添えと励ましがこの本に生きています。私の仕事は半ば半分というところです。さらにご意見、批判をしていただくように願っています。



神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ

以下のとおり第32期定期総会を開催します。

各会においては代議員の選出をお願いします。

代議員は会員10名につき1名、10名までの会は1名をお願いします。

また、次期新理事の推薦をお願いします。

神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会

日時 2010年3月14日(日) 10時から17時

場所 日本勤労者山岳連盟事務所 1F 会議室 (JR総武線飯田橋駅徒歩8分) (案です)

内容 第31期総括と第32期活動方針案
理事の選出など



神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計41名（男25 女16）平均 歳

11/1-2 柴崎口ック(2+3)	11/8 湯河原幕岩(1+3)	丈山(2)	年会(18)
11/3 奥武蔵・伊豆ヶ岳(7)	11/15 丹沢 烏尾根(搬出訓練)(10)	11/21-22 大菩薩・乾徳山～西沢溪谷(2+2)	11/28 箱根外輪山
11/7-8 鷹取山セルフレスキュー(5)	11/21 伊豆・城山(3)	11/21-22 雲取山(2)	
	11/21 伊豆 葛城山-発端	11/28-29 丹沢 大倉(忘)	

川崎ハイキングクラブ

報告：二瓶 誠 計102名（男51 女51）平均62歳

10/16-18 至仏山/尾瀬(8)	10/25-28 八経ヶ岳・釈迦ヶ岳/大峰山脈(5)	11/7-8 鷹取山/県連レスキュー(1)
10/16-18 蝶ヶ岳/北アルプス(2)	11/1 浅間嶺/奥多摩(9)	11/8 棒ノ折山/芋煮会山行(35)
10/17-18 赤城山/群馬(6)	11/1 櫛形山/山梨県連(1)	11/10-11 南蔵王連峰(3)
10/18 世附権現山/県連HL(1)	11/1 馬頭刈山/武蔵五日市(4)	11/15 雨引山/長野県連(1)
10/18 三つ峠/河口湖周辺(10)	11/8 明神ヶ岳/県連HL(1)	11/15 飯盛山/公開バスハイク(44)
10/18-21 剣山/四国(5)	11/7-8 荒船山・妙義山/群馬(9)	
10/20-21 尾瀬ヶ原(2)		

川崎柴笛クラブ

報告：雪竹雅士 計32名（男19 女13）平均48歳

11/1 大岳山(1)	11/7-8 太刀岡山(3)	11/21-22 阿弥陀岳中央稜(1)	11/22 鍋割山(3)
11/1 つづら岩(3)	11/8 陣馬山(2+1)	11/21 高尾山(1+4)	11/22-23 光岳(2)
11/1 金峰山(1+3)	11/8 塔の岳(1)	11/21-23 硫黄より、赤岳鉱泉に下山(3)	11/23 塔ノ岳(1+1)
11/3 大菩薩嶺(1+3)	11/14 塔ノ岳(6)	11/21-23 濁沢岳西尾根(2)	11/28 鷹巣山(1)
11/3 乾徳山(2)	11/15 大山(1+1)	11/21-23 雲取 笠取山(1)	11/28 碧岩&大岩(1+2)
11/3-4 鳳凰三山(1+3)	11/15 広沢寺(1+1)		11/28 高尾山(1+1)
11/7-8 雲取山(1)	11/15 鍋割山(1+1)		11/28 白毛門(3)
11/7-8 鷹取山(セルフレスキュー)(7)	11/16-19 屋久島(2)		

アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名（男23：女15）平均 歳

11/1 河又(3+1)	キュー、遭対訓練(9)	11/21-22 立山(2)	11/27 広沢寺(2+4)
11/2 大山(1+2)	11/8 鷹取山(セルフレスキュー、遭対訓練)(8)	11/21-23 立山(3)	11/28 箱根(1)
11/2-3 小川山(2)	11/9-12 霧島、開聞岳(1)	11/22 塔が岳(1)	11/29 黒斑山(1+30)
11/3 太刀岡山(1+1)	11/14-15 谷川岳 主脈(2)	11/23 東丹沢トレイルレース(2)	11/29 伊豆城山(1+1)
11/3 鷹取山(セルフレスキュー)(1)	11/15 大山南尾根(2)	11/23 湯河原幕岩(1+3)	
11/7 鷹取山(セルフレスキュー)(7)	11/16-17 三つ峠(3)	11/24 雷木沢(1+1)	

横浜ハイキングクラブ

報告＝池上準子 計59名（男23：女36）平均62歳

11/1 湯坂道(7)	11/21 御前山	1/10 大山
11/7-8 大倉-丹沢-蛭ヶ岳(3)	12/5 不老山	1/17 矢倉岳
11/12 室内例会(45)	12/12-13 忘年会	1/20 22草津スキー
11/14 西御荷鉱山-東御荷鉱山	12/19 金時山	1/31 餅つき山行

横浜こぶしの会

報告＝田辺美由紀 計27名（男18人 女9人）平均52歳

11/7 明神(3)	11/20-23 帝釈山 那須(4)	12/12 仏果山
11/8 滝子山(3)	11/28 川苔山 本仁田山(4)	12/19-20 天神平 雪トレ
11/14-15 ハヶ岳(18)		1/9-11 ゲレンデスキー

藤沢山の会

報告＝中河原昭夫 計85名（男41：女44）平均63歳

11/7 いも煮会(泉の森)(26)	11/21-22 丹沢・新茅ノ沢(沢の集い打ち上げ)(11)	12/13 湘南・衣張山
11/14-15 村岡ふれあいまつり	11/23 丹沢・畦ヶ丸(5)	12/19-20 富士山(雪山実技)
11/15 奥多摩・奈良倉山(6)	11/29 丹沢・弘法山権現山(21)	12/19 焼津・高草山(会ハク)
11/18 富士周辺・越前岳(5)	12/5 丹沢・大山(会ハク)	12/26-27 北八つ(雪山の集い)
11/19 奥秩父・大菩薩嶺(4)	12/6 丹沢・広沢寺(RCT)	
11/21 奥秩父・西沢溪谷(会ハイク)(11)	12/12-13 箱根(忘年山行)(44)	

小田原ナーゲル山の会 報告 = 中島健一 計30名 (男20 : 女10) 平均 歳

10/19 箱根・湯坂路(4)	10/31-11/1 乾徳山(6)	11/26 運営委員会 予定	1/24 会山行、霧ヶ峰XC スキー
10/24 丹沢・塔ノ岳(3)	11/4-6 三瓶山/伯備大山 (1+17)	12/5 例会、講習会、忘 年会	1/24 幕岩の清掃活動実 施
10/24 関白道調査刈り払 い山行(3)	11/11 読図講習会・例会	12/17 運営委員会	1/28 運営委員会
10/24 大山(2)	11/15 読図山行・丹沢源 次郎尾根(5)	12/19-20 矢倉岳鍋山行	
10/30 明神が岳(1)	11/20-21 稲子岳南壁(2)	1/13 例会	
10/31 幕岩(3)			

相模アルパインクラブ 報告:水村和也 計42名 (男30 : 女12) 平均52歳

10/29 大山(2)	11/6-7 大台ヶ原(1)	11/15 広沢寺(7)	11/22 広沢寺(3)
10/30-11/1 白峰三山(1)	11/7 鷹取山(2)	11/13-15 高賀山・瓢ヶ 岳(1)	11/23 広沢寺(3)
10/30-11/2 尾瀬(3)	11/8 鷹取山(2)	11/15 城山(1)	11/21-23 甲斐駒ヶ岳(2)
11/3 広沢寺(2)	11/8 大山南稜ポッカト レ(10)	11/15 道場グレンデ(1)	11/22-23 富士山(1)
10/30-11/3 小豆島(2)	11/8 幕岩(2)	11/14-15 幕岩(1)	11/22-23 北八ヶ岳(6)
11/3 道場駅周辺(1)	11/15 宮地山(1)	11/21 幕岩(2)	
11/3 幕岩(2)			

カモの会 報告:森谷準一 計64名 (男42 : 女22) 平均35.8歳

11/1 稲包山(2)	11/14 八仙嶺(1)	11/22 茅ヶ岳(4)	その他、個人山行記録多 数あります。 ヤマレコでご確認下さい。 http://www.yamareco.com/
11/2 キナバル山(1)	11/15 日和田(5)	11/28 明神ヶ岳～明星ヶ 岳(3+1)	
11/3 編笠山～権現岳～ 赤岳(1+2)	11/16 地蔵尾根(1+1)	11/28 三ツ峠(5)	
11/3 裏丹沢 原小屋沢(4)	11/21 いわき/青葉(1+3)	11/28 玄倉周辺(1+1)	
11/7 鷹取山(17)	11/21 立山(1+3)	11/29 鍋割山(1+2)	
11/8 北川(1+4)	11/22 那須(2)	11/29 日和田(6)	

雪登山の会 報告:小緑岳志 計17名 (男13 女4) 平均44歳

11/4 丹沢(地蔵尾根～姫次～袖平 山)(1)	11/15 丹沢・沖ノ源次郎沢(2)	11/26 丹沢(堂平～天王寺尾根～ 丹沢山～塔ノ岳～長尾尾根)(2)
11/8 三ツ峠(6)	11/19 丹沢(行者岳北東尾根～行 者岳～三ノ塔～ヨモギ尾根)(2)	11/28日 丹沢・モミソ沢(アイゼ ントレーニング 大滝まで往復) (3)
11/8 湯河原・幕岩(2)	11/22-23 爺ヶ岳南尾根(4)	
11/10 富士山・富士宮口(2)	11/23 八ヶ岳(天女山～三ツ頭～ 権現岳往復)(2)	
11/15 湯河原・幕岩(4)		

やま++ 報告:栗田 彰 計12名 (男9 : 女3) 平均50歳

11/7 秩父・瑞牆山(3+5)	11/21-22 北関東・皇海山(5)	12/12-13 雲取山
11/11 勉強会・天気図の見方(9)	12/5 奥多摩・横スズ山	12/16 忘年会
11/15 講習会・セルフレスキュー (9)	12/9 勉強会	
	12/13 丹沢・塔ノ岳、	

みずなら山の会 報告:阿部ひろみ 計31名 (男21 女10) 平均 歳

11/14-15 城山・城ヶ崎 (7)	11/21 大倉～塔ノ岳(1)	11/28 大菩薩峠～牛の寝 通り(6)	立山荘(6)
11/14-15 つづら岩(3)	11/21-22 雲取山(3)	11/28 茅ヶ岳(2)	12/5 戸沢～読図～花立 山荘(3)
11/15 西丹沢セルフレス キュー訓練(14)	11/21-22 城ヶ崎(2)	11/29 城山(3)	12/6 塔～蛭ヶ岳～西丹 沢(6)
11/15 戸沢～蛭ヶ岳往復 (1)	11/23 幕岩(8)	11/29 幕岩(3)	12/6 塔～丹沢山～宮が 瀬(4)
11/15 丹沢主稜(2)	11/27 広沢寺セルフレス キュー(5)	12/5 モミソアイゼント レ～花立山荘(5)	
	11/28 大倉～丹沢山往復 (1)	12/5 大倉～小草平～花	

神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体 2009.12.8現在

	会 名	会員数	ホームページ
1	川崎勤労者山岳会		http://kawasakirousan.hp.infoseek.co.jp/
2	川崎ハイキングクラブ		http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/
3	川崎柴笛クラブ		http://www.shibabue.com/page/page-1.htm
4	アルパインクラブ横浜		http://acy.jpn.org/
5	横浜ハイキングクラブ		http://yokohamahc.web.infoseek.co.jp/index.html
6	横浜こぶしの会		http://kobu-shi.sakura.ne.jp/
7	藤沢山の会		http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/
8	小田原ナーゲル山の会		http://nagel.jp/
9	相模アルパインクラブ		http://sagamiac.sakura.ne.jp/
10	こだまの会		
11	みずなら山の会		http://makiyamaenchi.web.infoseek.co.jp/
12	緑星スキー山の会		
13	さがみ山友会		http://www.geocities.jp/sagami_sanyukai/
14	こまくさH.C		
15	カモの会		http://www.kamonokai.com/
16	白嶺岳和会		
17	雪童山の会		http://www5e.biglobe.ne.jp/~yama/
18	地平線の会		http://www.geocities.jp/tiheisen2004/
19	やま++		http://yamaplpla.hustle.ne.jp/xoops/
20	山ブキの会		自然を愛し仲間と楽しむ。入会条件無し。
21	山岳素行童人メーグリ家		フリー、沢、アルパインクライミング等



登山時報 12月号 目次

連載 わたしの一名山

爺ヶ岳東尾根 鳥越章夫 04

地域研究 よみがえれ秋葉古道 近藤鏡 16

北方稜線から剣へ 日高 博 13

インドヒマラヤ パワー全開の女性たち

登山50周年記念行事 女性のためのヒマラ

ヤ学校 全国連盟女性委員会 08

始動する登山メディア戦略 後藤功一 26

元気の出る集会PART11 平田真介 27

<普段着の山> 山の中の採石場

最終回 鈴木澄雄 03

連載 クイズ地図読み迷人

村越真 宮内佐季子 09

野鳥との出会い シロハラ

小枝琢三 福井壽彦 10

シグナル 次世代へ貧困ではなく豊かな自

然を 齊藤義孝 12

山で気になるカンキョーの話 菊地敏之 23

山での救急法 最終回 全国連盟遭難対策

部 24

タカトリ今昔物語 古川純一 25

JWAFクリック 28

連載 碧い南の島だより 雨宮 節 30

全国連盟の活動 31

専門委員会活動報告 32

編集後記 34

インタビュー ひと 中芝親男さん

米倉一代 35

地元会員特選ミニガイド

福島・五台山/桑原信一

和歌山・獄ノ森山/児島弘幸 36

ブックエンド 『垂直の記憶』他

宮澤健二 他 38

あらかると 「登りより下りの方が難しい」

原 眞 39

会報えつらん室 藤田栄子 40

オススメ山道具 個性派小物袋 パート2

笹原芳樹 42

県連のスケジュール

12月			2010年1月			2010年2月		
1	火	常任理事会	1	金		1	月	常任理事会
2	水	登山リーダー養成学校机上講習	2	土		2	火	
3	木		3	日		3	水	登山リーダー養成学校机上講習
4	金		4	月		4	木	
5	土		5	火	常任理事会	5	金	
6	日		6	水	登山リーダー養成学校机上講習	6	土	
7	月	遭対部会/連盟news印刷	7	木	遭対部会	7	日	
8	火	事務局長会議/連盟news発行	8	金		8	月	遭対部会/連盟news印刷
9	水		9	土	連盟news印刷	9	火	事務局長会議/連盟news発行
10	木		10	日		10	水	
11	金		11	月		11	木	
12	土	登山リーダー養成学校実技講習	12	火	事務局長会議/連盟news発行	12	金	
13	日	登山リーダー養成学校実技講習	13	水		13	土	
14	月		14	木		14	日	
15	火	全国理事会/救助隊運営会	15	金		15	月	
16	水		16	土		16	火	全国理事会/救助隊運営会
17	木	事務局部会 関東B雪崩事故防ぐ机上講習	17	日		17	水	
18	金		18	月		18	木	事務局部会
19	土		19	火	全国理事会	19	金	
20	日		20	水		20	土	全国総会 関東B救助隊深雪搬出訓練
21	月	自然保護委員会	21	木	事務局部会	21	日	全国総会 関東B救助隊深雪搬出訓練
22	火		22	金		22	月	自然保護委員会
23	水		23	土	登山リーダー養成学校実技講習 関東B雪崩事故防ぐ講習会 東日本女性交流集会高尾	23	火	
24	木		24	日	登山リーダー養成学校実技講習 湯河原梅林公園清掃活動 関東B雪崩事故防ぐ講習会 東日本女性交流集会高尾	24	水	
25	金		25	月	自然保護委員会	25	木	
26	土		26	火		26	金	
27	日		27	水		27	土	登山リーダー養成学校実技講習
28	月		28	木		28	日	登山リーダー養成学校実技講習
29	火		29	金				
30	水		30	土				
31	木		31	日				

2009年度以降の全国的な規模の集会・会議予定

湯河原梅林公園環境保全活動

2010年1月24日

第11回東日本女性登山交流集会

2010年1月23日～24日（東京・高尾の森）

第17回 関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」

2010年1月23日～24日

第24回雪崩事故を防ぐための講習会

2010年2月12日～14日（中ア・宝剣岳、黒姫山）

関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会

2010年2月20日（土）・21日（日）

第29回全国総会

2010年2月20日～21日 東京・晴海G H

